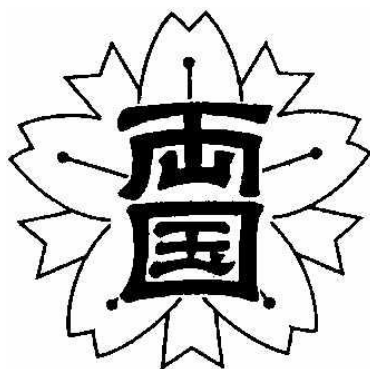


令和6年度（2024）

年間授業計画

第3学年



東京都立両国高等学校附属中学校

令和6年度年間授業計画 教科名 国語

担当：
対象：中学3学年全クラス

1、学年学習到達目標

- (1) 様々な文章を読み、内容を的確に捉える力を高め、論理力や想像力を養う。
- (2) 言語や表現に対する理解を深め、言葉を大切にしようとする姿勢を養う。
- (3) 思考力や創造力を養い、目的や意図に応じた的確に表現できるようにする。

2、授業の進め方(授業形態等)

- (1) 時間数 週4時間、年間総授業数140時間
- (2) 授業形態 一斉・講義・演習・グループワーク等

3、教科書・副教材教科書

『国語3』（光村図書） 『原色小倉百人一首』（文英堂） 『国語便覧 東京都版』（浜島書店）
『中学書写』（教育出版） 『常用漢字の1・2トライ』（浜島書店） 『すらすら基本文法』（浜島書店）
『標準新演習中3』（エデュケーショナルネットワーク出版）

4、学習計画

学期	月	単元名	学習内容	時数	備考
1 学期	4	「世界はうつくしいと」 「握手」 「学びて時に之を習ふ」 「作られた『物語』を超えて」 「俳句の可能性」「俳句を味わう」 書写	・ 文学的文章、説明的文章 ・ 文章表現 ・ 韻文音読、朗読 ・ 古典文学の読解 ・ 書写（硬筆と毛筆）	52（内書 写6）	通年 ・ 百人一首 ・ 漢字 ・ 語句 ・ 口語文法 ・ 読解演習
	5				
	6				
	7				
2 学期	8	「挨拶」「故郷」 「人工知能との未来」 「人間と人工知能と創造性」 「初恋」 「和歌の世界」「君待つと」 書写	・ 文学的文章、説明的文章 ・ 文章表現 ・ 韻文音読、朗読 ・ 古典文学の読解 ・ 書写（硬筆と毛筆）	58（内書 写7）	
	9				
	10				
	11				
3 学期	1	「夏草」「古典名句・名言集」 「誰かの代わりに」 「温かいスープ」 「わたしを束ねないで」 書写	・ 文学的文章、説明的文章 ・ 文章表現 ・ 韻文音読、朗読 ・ 古典文学の読解 ・ 書写（硬筆と毛筆）	30（内書 写7）	
	2				
	3				

5、評価について

それぞれの観点については、次の内容を考慮して評価する。
知識・技能……定期考査、漢字、文法、語彙、書写等
思考・判断・表現…定期考査、スピーチ、発表、ノート、作文、レポート等
主体的に学習に取り組む態度…日ごろの授業への取り組み、提出物、小テスト等

1 3 学年学習到達目標

- ① 現代社会をとらえるための見方や考え方の基礎を学習し、広い視野に立って社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的、多角的に考察する。また、我が国の伝統と文化に関心を持ち、国土と歴史に対する理解と愛情を深めるとともに、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
- ② 社会的事実について自分の考えを説明したり、まとめて論述したり、議論を通じて深めたりして言語活動を充実させ、「人と文化」について思考・判断・表現する力を育てる。

2 授業の進め方（授業形態等）

(1) 週 3 時間 (2) 年間総授業数 140 時間 (3) 授業形態 1 クラス 40 人授業

3 教科書・副教材

教科書	「中学社会 公民（教育出版）」
副教材	「政治・経済資料集（とうほう）」「テオリア 最新倫理資料集（第一学習社）」

4 学習計画 ※発展的内容（ほとんどの指導内容中に少しずつ発展的な内容を盛りこみます）

公民的分野1 「 経済領域 」			公民的分野2 「 政治領域 」	
月	学習内容	時数	学習内容	時数
4	[私たちの生活と経済] 家計と消費生活/企業の生産の仕組みと労働/ 株式会社	6	(歴史的分野)第一次世界大戦前後の日本と世界 [人と文化]文化とは何かを考えよう	6
5	流通と生産/価格の変動/市場の仕組みとはたらき/ 経済の発展と産業構造の変化	7	第二次世界大戦終結まで [人と文化]日本文化の特徴を知ろう	7
6	金融のしくみと中央銀行/間接金融と直接金融/ 財政の役割と国債/	8	第二次世界大戦後の民主化と再建/経済大国・日本の国際的役割 [人と文化]日本各地の生活文化を知ろう	8
7	税金の種類と役割市場経済の仕組み/物価の変動	5	[私たちの生活と現代社会] 私の家庭と少子高齢化、情報から現代を知る私/世界とかかわる私、家族と私、地域社会と私/国家と私、世界と私、法と私たちの生活 [人と文化]日本各地の生活文化を知ろう	5
学習のねらい	分野1 ●経済の基本的な概念を理解させる。●身近な消費生活を通じて、経済活動や産業構造を理解させる。●消費者問題と消費者保護のための法・制度を理解させる。●流通・生産における企業の役割を理解させる。●私企業の代表である株式会社のしくみや、独占・寡占がもたらす影響について理解させる。●社会主義経済と比較しながら、資本主義経済の特徴を理解させる。●市場経済における価格変動のしくみ、経済における金融機関の果たしている役割、為替制度について理解させる。●企業の社会的な責任をふまえ、企業の社会貢献について理解させる。●働くことの意義と権利について理解させる。●日本の生活文化や伝統と自己との関わりを理解させる。●日本各地域の生活文化の特徴を考えさせグループ研究にまとめさせる。 分野2 ●現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに、わが国の伝統と文化に関心を持たせ、文化の継承と創造の意義に気付かせる。●現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられることを理解させるとともに、それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付かせる。●社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について具体的に考えさせる。●現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、「対立」と「合意」、「効率」と「公正」などの視点があることを、具体的な社会生活と関連付けて理解させる。			
8 9	経済政策と金融政策/経済政策の目指すもの/ 少子高齢化と日本の現状	8	人権の歴史、大日本帝国憲法と日本国憲法/基本的人権の尊重、国民主権と天皇/平和主義/憲法改正 [人と文化]世界の様々な文化の特徴を知ろう	8

公民的分野1 「 経済領域 」			公民的分野2 「 政治領域 」		
月	学習内容	時数	学習内容	時数	
10	社会保障制度/助け合う世界と日本の福祉/国際金融/企業の社会的責任/働く人の権利と労働環境の保護	8	平等権、ともに生きるために/自由権、社会権 参政権と国務請求権/新しい人権、国際社会における人権/民主主義とは [人と文化]世界の様々な文化の特徴を知ろう	8	
11	日本の公害問題と世界の環境問題/循環型社会の形成とあり方/グローバル社会に向けて/新たな日本経済のあり方/貿易がもたらすもの	9	選挙のしくみと国民の政治参加/世論とマスメディア/三権分立と国会のしくみ/立法権をもつ国会/政党と政治 [人と文化]世界各国の生活文化を知ろう	9	
12	国際社会と主権国家/日本の領土をめぐる	5	内閣と議院内閣制/内閣の仕事と行政のはたらき/裁判所の役割/裁判の流れと司法権の独立[人と文化]世界各国の生活文化を知ろう	5	
学習のねらい	分野1 ●日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原則としていることについての理解を深め、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事行為について理解させる●人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に、具体的な活動などを通して意欲的に追究させるとともに、法の意義や法を守る心について理解させる。●民主政治の仕組みのあらましやマスメディアの影響、考え方について理解させるとともに、主権者として政治に参加する意義について理解させる。●新聞記事や統計資料などを活用し、現実の政治の動きを多面的・多角的にとらえさせる。●国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みや政党の果たす役割と課題について理解し、議会制民主主義の充実への意欲を高める。●内閣と国会との関わりや、内閣と行政機関のしくみやはたらきについて理解し、行政の課題について考えさせる。●国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることを理解させる。●模擬裁判などの体験的な学習をとおして、国民の司法参加の意義について考えさせるとともに、公正に問題を解決しようとする態度を育てる。 分野2 ●社会主義経済と比較しながら、資本主義経済の特徴を理解させる。●市場経済における価格変動のしくみ、経済における金融機関の果たしている役割、為替制度について理解させる。●企業の社会的な責任をふまえて、企業の社会貢献について理解させる。●働くことの意義と権利について理解させる。●市場経済における政府の役割を理解し、租税・財政についての理解を深めさせる。●国および地方公共団体の財政赤字や、財政のあり方について理解を深めさせる。●世界各地の多様な生き方考え方について理解を深めさせる。●世界各国の生活文化の特徴を考えさせグループ研究にまとめさせる。				
1	国際社会と国際連合/地域統合と世界の動き/資源とエネルギー問題/食糧問題/子供と女性を巡って	5	地方公共団体の政治のしくみ/地方公共団体の移り変わり/世界の中の日本人として [人と文化]世界の多様な生き方や考え方を知り、異文化理解とは何かを考えよう	5	
2	人間の安全保障/生命の星を守るために/持続可能な未来/日本経済のこれから	6	国家とは何か/国家と私たち/国際社会での協調 [人と文化]学習のまとめ「研究レポート」の作成	6	
3	経済領域および国際社会領域のまとめ	3	国際連合のはたらき/世界平和の実現にむけて/日本の安全と防衛 [人と文化]学習のまとめ「研究レポート」の作成	3	
学習のねらい	分野1。●国家や国際社会との関わりを認識させ、自国への愛情と誇りを涵養するとともに、世界平和の実現に向けた国際的な取り組みについて理解させる。●国際的な相互依存関係の深まりの中で、国際社会における日本の役割や国際貢献のあり方について考えさせる。●日本の社会保障制度の課題を財政面と少子高齢化の面から考え、将来のあり方について考えさせる。●公害問題をはじめとする環境問題に理解を深め、循環型社会や環境保護への取り組みを理解させる。●日本経済の将来について、その可能性を探りながら、自身がその一翼を担っていくことを自覚させる。 分野2 ●地方自治の基本的な考え方や地方公共団体の政治のしくみについて理解するとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。●戦後の日本経済の歩みを、その背景もふまえながら理解させる。●既習の異文化理解を通して、現代社会が抱えている問題点について考え、共生するために必要なことは何かを考えさせる。				
小計		70		70	
計	140				
評価の観点	・ 定期考査、小テスト、レポート、小論文、平常点で評価する。 ・ 平常点には出欠・授業態度・課題提出状況などを含む。				

1. 学年学習到達目標

- ①人類の精神文化を中心に理解を深め、現代社会の諸問題に着目し、現代社会に対する興味・関心を高める。
- ②資料の収集や活用のしかた・新聞やインターネットの活用法、プレゼンテーションの方法などを学び、活用できる能力を身に付けさせる。
- ③日本や世界で起こっているさまざまな諸問題について、そこに生きる人間のさまざまな生き方や考え方を知るとともに諸問題の解決策を自ら考え追求することができる。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1) 週1時間 (2) 年間総授業数 35 時間 (3) 授業形態 一斉・討論・作業・発表など

3. 教科書・副教材 教科書使用しない。自作ワークプリントを使用。

副教材「テオリア」（第一学習社）

4. 学習計画

学期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1		1 文化とは何かを考えよう	「文化」の定義		
		2 精神文化としての心理学について 知ろう	青年期について 大人になるということ 青年期の特徴 ルソー クルト・レヴィン R・J・ハヴィガースト 発達心理学の世界 エリクソン 精神分析学の世界 フロイト ユング		
2		3 人類の精神文化の源流を探る	ギリシア哲学の世界 ポリスの風土 自然哲学者たち ソフィスト ソクラテス プラトン アリストテレス	13	
3		4 学習のまとめ 研究レポート作成	現代文明が抱えている問題点とその解決 ・価値観の問題 ・環境倫理の問題など		

				17	
				5	

5. 評価について(材料・場面・頻度等)

- ・ 学習したこと、調べたことを適切な用語を使って討論し、まとめたりして表現している。
- ・ 課題やレポートの提出，授業の取組の姿勢など総合的に加味して評価材料とする。

1. 学年学習到達目標

- ① 整式についての理解を深め、目的に応じて計算したり整式を変形したりすることができる。
- ② 平方根の概念を理解し、平方根を含む式を計算したり平方根の概念を利用したりすることができる。
- ③ 2 次方程式について理解し、これを解いたり利用したりすることができる。
- ④ 関数的な見方や考え方を深め、グラフを用いて事象を考察することができる。
- ⑤ 確率的なものの見方を理解し、確率を求めたり標本から母集団を推定したりすることができる。
- ⑥ 相似な図形の性質、三平方の定理等を理解し、図形の性質の考察や計量に利用することができる。
- ⑦ 式や図形に対して見通しをもって論理的に考察し表現することができる。

2. 授業の進め方（授業形態等）

- (1) 週 4 時間 (2) 年間総授業数 140 時間 (3) 授業形態 一斉授業
- ※ 週 1 時間は、「1 学級 2 展開の習熟度別授業」で問題演習を行います。

3. 教科書・副教材

教科書	中学校数学 3（学校図書）
副教材	体系数学 2（数研出版）／体系問題集数学 発展（数研出版）

4. 学習計画 ※ 発展的内容

学期	月	指導単元名	学 習 内 容	時数	演習	備 考
1 学期	4	式の計算	1 多項式の計算 2 因数分解 習熟度に応じた、問題演習 3 式の計算の利用（計算の工夫、証明）	9	3	5月 中間考査 完成ノート点検
	5	平方根	1 平方根 2 根号をふくむ式の計算 3 有理数と無理数 習熟度に応じた、問題演習	9	3	
		2次方程式	1 2次方程式の解き方 2 2次方程式の活用 習熟度に応じた、問題演習	12	4	
	6	関数 $y = ax^2$	1 関数 $y = ax^2$ 2 関数 $y = ax^2$ のグラフ 3 関数 $y = ax^2$ の値の変化 4 関数 $y = ax^2$ の応用 5 いろいろな関数 習熟度に応じた、問題演習	9	3	7月 期末考査 完成ノート点検 ファイル等点検
	7					
2 学期	9	図形と相似	1 相似な図形 2 三角形の相似条件 3 平行線と線分の比 4 中点連結定理 習熟度に応じた、問題演習 5 相似な図形の面積比、体積比	13	4	9月 夏休みの宿題点検 宿題考査 10月 中間考査 完成ノート点検
	10					
	11	線分の比と計量 ※	1 三角形の重心 2 線分の比と面積比 3 チェバの定理、4 メネラウスの定理 習熟度に応じて、応用・発展的な問題演習を行う。	11	4	
		12	三平方の定理 ※	1 三平方の定理 2 三平方の定理と平面図形 3 三平方の定理と空間図形 習熟度に応じて、応用・発展的な問題演習を行う。	9	3
	3 学期	1	数と式 ※	1 多項式 2 因数分解 3 多項式の割り算 4 分数式 5 実数 習熟度に応じて、応用・発展的な問題演習を行う。	21	7
2						
3						
計				105	35	

5. 評価について(材料・場面・頻度等)

3つの観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を3段階で評価する。「主体的に学習に取り組む態度」は、授業への取り組みの様子、宿題や課題などの状況で評価する。他の観点は定期考査、小テスト、レポート課題などの成績を中心に評価する。3つの観点の評価を総合して5段階の評定を出す。

- 1 学年学習到達目標
- ① 常生活と関連づけて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養い、電流に対する興味・関心を高める。

② 身の回りの物体の運動の観察・実験を通して、運動の調べ方の基礎を身につけるとともに、力と運動についての基本的な規則性を理解し、これらの事象を日常生活と関連づけて、運動の初歩的な見方や考え方を養う。

③ エネルギーに関する観察・実験を行い、エネルギーの基礎について理解するとともに、これらの事象を日常生活と関連づけて科学的な見方や考え方を養い、エネルギーに対する興味・関心を高める。

④ 人間が利用しているエネルギーには、水力、火力、原子力などさまざまなものがあることを理解するとともに、エネルギーの有効な利用を日常生活と関連づけて科学的にみる見方や考える態度を養う。

- 2 授業の進め方
- (1)週2時間

(2)年間総授業数70時間

(3)授業形態…一斉授業

3 教科書・副教材

教科書	新しい科学2（東京書籍）、新しい科学3（東京書籍）
副教材	最新理科便覧 東京都版（浜島書店）、中高一貫進展理科 物理編(文理)

4 学習計画

期	月	指導单元名	指 導 内 容	時数	備 考	
1 学 期	4	電流の性質	・自由電子の基礎事項の確認 ・回路に流れる電流 ・電圧と電流と抵抗 ・電気エネルギー ・電流がつくる磁界 ・磁界から電流が受ける力とモーター ・電磁誘導	14	・電気回路の基本性質を理解させ、オームの法則を用いて基本的な計算に習熟させる。 ・電流と磁界の関係を理解させる。	
	5	電流と磁界		12	・発電のしくみを理解させる。 ・平均の速さと瞬間の速さの違いを理解させる・ ・力の合成と分解の意味とその方法について理解させる。	
	6	物体のいろいろな運動	・運動の調べ方 ・速さ（平均の速さ、瞬間の速さ） ・速さの変化と力の関係 ・力のつり合い ・力の合成と分解			
	7	力の規則性				
2 学 期	9	エネルギーと仕事	・慣性の法則 ・作用・反作用の法則 ・運動の法則	14	・質量と力のはたらきと速さの変化の仕方の関係を理解させる。	
	10		・重力に逆らってする仕事 ・摩擦力に逆らってする仕事 ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・	16	・仕事の意味とその計算方法について習熟させる。 ・エネルギーの種類とその意味について理解させる。	
	11					
	12					
3 学 期	1	エネルギー資源の利用	・力学的エネルギー保存の法則 ・電気エネルギー・発電 ・エネルギー消費とエネルギー資源 ・効果的なエネルギー利用 ・放射線の利用	4 10	・どのような場合に力学的エネルギーが保存するのかをいろいろな例を通して理解させる。 ・エネルギーの性質を理解させ、その効果的な利用方法について深くかんがえさせる。	
	2					
	3					

5. 評価について(材料・場面・頻度等)
- ①定期考査

②小テスト

③提出物（レポート・ノート・問題集など）

④実技テスト

1. 学年学習到達目標

- ①自然科学に対する興味・関心を高める。②観察・実験の基本的操作を身につける。
③身近な化学変化を記号で表せるようにする。また、酸化・還元、燃焼、電池の基礎を学習する。
④生物は細胞でできていることおよび自分たちの体のしくみを観察・実験を通して理解する。動植物のからだのつくりとはたらきを学習し、生命を尊重し自然環境を保全しようとする意欲と態度を育てる。
⑤生物の成長とふえ方、遺伝現象について理解し、生命の連続性について認識を深める。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1)週 2 時間 (2)年間総授業数 70 時間 (3)授業形態…一斉授業・実験・観察

3. 教科書・副教材

教科書	新しい科学 2, 新しい科学 3 東京書籍
副教材	中高一貫 進展理科 化学編 文理、中学の生物 教育開発出版 最新理科便覧東京都版 浜島書店 アシスト 科学と人間生活 新訂版（化学資料＋問題集） 実教出版

4. 学習計画 ※発展的内容

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考	
1 学期	4	水溶液とイオン 化学変化と電池	・電気分解、イオン化傾向、電池 ・酸、アルカリの定義	14	・実験を通して、化学の基本原理を理解させる ・後半は、高校化学の内容を扱う。	
	5					
		酸・アルカリとイオン 物質と化学反応式	・中和反応 ・原子量・分子量・敷料 ・物質質量 ・化学反応の量的関係	12		
	6					
	7					
2 学期	9	生物のからだをつくる細胞	・生物の体と細胞 ・単細胞生物と多細胞生物	5	・観察・実験の基本操作をしっかりと身につけさせる。 ・光学顕微鏡を使った細胞の観察を行い、顕微鏡観察の手法を身につけさせる。 ・植物を使った実験観察を行い、植物の作りとはたらきについて理解させる。 ・ブタの内臓および鶏頭を使用した実験観察を行い、動物の生命維持のしくみについて理解させる。 ・細胞分裂の観察を行い、生物の成長のしくみについて理解させる。 ・メンデル遺伝のモデル実験を行い、遺伝の規則性について理解させる。 ・遺伝子DNAや科学技術に関しては、最新の話題を導入する。	
	10	植物のつくりとはたらき	・葉のつくりとはたらき ・光合成と呼吸 ・根と茎のつくりとはたらき	7		
	11					
		生命を維持するはたらき	・栄養分の消化・吸収 ・細胞呼吸と肺のはたらき ・心臓のはたらきと血液循環 ・腎臓や肝臓のはたらき	10		
	12					
		感覚と運動のしくみ	・感覚器官 ・中枢神経と末しょう神経 ・骨格と筋肉	8		
3 学期	1	生物の成長と生殖 生物の規則性と遺伝子	・細胞分裂 ・無性生殖と有性生殖 ・動物や植物の増え方 ・減数分裂・遺伝のしくみ ・遺伝子の本体DNA ・遺伝子に関する科学技術	14		
	2					
	3					

5. 評価について(材料・場面・頻度等)

- ①実験実習レポート ②定期試験 ③普段の授業態度
レポート・試験・授業中の発表には、文章で表現するものを多く取り入れ、国語力の向上に努める。

1. 学年学習到達目標

- ①幅広い活動を通して、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。
- ②曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽の諸要素を理解しそのよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ③主体的・協働的に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむ態度を養う。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1)週1時間 (2)年間総授業数 35時間 (3)授業形態 一斉(40人)

3. 教科書・副教材

教科書	中学生の音楽2・3上、下（教育芸術社）中学生の器楽（教育芸術社）
副教材	MY SONG 7訂版（教育芸術社）音楽のハーモニー2・3年下（正進社）

4. 学習計画

期	月	指導单元名	学習内容	時数	備考
1 学 期	4	器楽（リコーダー）	・アルトリコーダーの基礎的な奏法を身につけ、アンサンブルの美しさを味わう。	5	合唱コンクール
	5	鑑賞（オペラ）	・音楽と他の芸術との関わりを理解し、総合芸術の豊かさを味わう。	2	
	6	歌唱（斉唱・合唱）	・発声、ブレス、姿勢など歌唱における基礎的な技能を高める。	4	
	7	楽典	・音階や調について理解する。	2	
2 学 期	9	鑑賞（歌舞伎）	・歌舞伎の特徴を理解し、音楽と舞台との関わりによる表現を味わう。	2	
	10	楽典 歌唱（斉唱・合唱）	・和音について理解する。	3	
	11		・歌詞の内容を生かして表現を工夫するとともに、基礎的な歌唱の技能を向上させる。	10	
	12				
3 学 期	1	歌唱（斉唱・合唱）	・声部の役割や曲の雰囲気の変化を理解し、クラスメイトと協力しながら表情豊かな表現をめざす。	5	
	2		・世界の諸民族の音楽の特徴を理解し、音楽の多様性を味わう。		
	3	鑑賞（諸民族の音楽）		2	

5. 評価について

- ①出席状況 ②授業での取り組み ③実技発表、実技テスト
- ④定期考査 ⑤感想文 ⑥提出物

1. 学年学習到達目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2. 授業の進め方（授業形態等）

- (1) 週 1 時間 (2) 年間総授業数 35 時間 (3) 授業形態 一斉（美術室）

3. 教科書・副教材

教科書	光村図書「美術2・3」
副教材	

4. 学習計画 ※発展的内容

期	月	指導題材名	学習内容	時数	備考
1学期	4	・鉛筆デッサン スーパーリアリズム	・鉛筆の種類の違いや特徴について理解する。 ・フォトリアリズム作品を鑑賞し、写真ではなく手作業である絵画やデッサンで表されたリアリズム表現の可能性に触れる。 ・各自の思い入れのある顔をモチーフとし、鉛筆でスーパーリアリズム作品を制作する。	6	
	5			7	
	6				
	7				
2学期	9	・ポスターデザイン 校内マナー啓発ポスター	・ポスター作品を鑑賞し、その目的や視認性、表現の工夫等を学ぶ。 ・問題意識を持って中学校生活を振り返り、校内マナーにおける課題を考え、その改善や啓蒙を訴えるポスターを制作する。	2	
	10			5	
	11			8	
	12				
3学期	1	・彫塑 リアルに野菜を作る	・実際の野菜を観察しながら、粘土でリアルに野菜を模刻する。	7	
	2				
	3				

5. 評価について(材料・場面・頻度等)

- ① 学んだ知識、技能を活用し作品に表すことができたか。
 - ② 課題を踏まえコンセプトを基に発想することができたか。
 - ③ 主体的に意欲を持って授業に取り組むことができたか。
- ※以上の点を中心に作品、ワークシート、クラスノートブック、授業態度、出欠を基にして評価する。

1. 学年学習到達目標

- ①運動における競争や協同の経験を通して、公正な態度や、進んで規則を守り互いに協力して責任を果たすことができるようになる。
- ②健康・安全に留意して運動することができるようになる。
- ③個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく能力を身につける。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1)週3時間 (2)年間総授業数 105時間 (3)授業形態 一斉（一部男女別習）

3. 教科書・副教材

教科書	大日本図書 新版 中学校保健体育
副教材	大日本図書 新版 中学校保健体育ノート3 学研 中学体育実技2020

4. 学習計画 ※発展的内容

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1 学 期	4	体づくり運動	体力を高める運動／体ほぐし運動	4	体育祭
	5	陸上競技	体力テスト／運動と体や心の働き	10	
	6	体づくり運動	短距離走・リレー・投運動	4	
		武道	新体力テスト	10	
	7	水泳	剣道	8	
2 学 期	9	水泳	クロール／平泳ぎ／背泳ぎ／バタフライ	6	球技大会
	10	球技①	①ソフトボール	8	
	11		②バドミントン	8	
	12	武道	剣道	10	
3 学 期	1	陸上競技	長距離走	10	
	2	球技②	女子：バレーボール	8	
	3	武道	男子：サッカー	4	
通 年		保健	健康な生活と疾病の予防／健康と環境	12	
		体育理論	体ほぐし・体力の意義と運動の効果	3	

5. 評価について(材料・場面・頻度等)

それぞれの観点については、次の内容を考慮して評価する。

- (1) 知識・技能・・・定期考査、学習カード、技能テスト
- (2) 思考・判断・表現・・・定期考査、授業への取り組み、学習カード
- (3) 主体的に学習に取り組む態度・・・出席状況、忘れ物、
授業への取り組み、提出物の状況

1. 学年学習到達目標
- ①身に付いた知識や技能を活用し、生活での問題を解決する方法を育成する
- ②情報の種類に応じて、応用ソフトを効果的に活用できる能力を養う
- ③食糧生産や地球環境の中で植物が課している役割について感心をもつ

2. 授業の進め方（授業形態等）
- (1)週 0.5時間 (2)年間総授業数 17.5 時間 (3)授業形態 一斉 (40人)

3. 教科書・副教材

教科書	新しい 技術・家庭 技術分野 （東京書籍）
副教材	オルゴール人形、スプラウト

4. 学習計画 ※発展的内容

期	月	指導单元名	学習内容	時数	備考
1 学 期	4	3 編：エネルギー変換の技術	電子機械工作	6	
	5		・ 製作の準備		
	6		・ けがき		
	7		・ 部分加工 ・ 組み立て ・ 動作確認		
2 学 期	9	3 編：エネルギー変換の技術	3 章	2	
	10	4 編：情報の技術	社会の発展とエネルギー変換の技術	4	
			3 章		
			計測と制御のプログラミングによる問題解決		
		4 章	社会の発展と情報の技術	2	
11	2 編：生物育成の技術	1 章			
	12		生物育成の技術の原理・法則と仕組み		
			2 章		
			生物育成の技術による問題解決		
3 学 期	1	2 編：生物育成の技術	3 章	3.5	
	2		社会の発展と生物育成の技術		
	3				

5. 評価について(材料・場面・頻度等)
- ・ 定期考査、実習、実験、レポート、プリント、作品、発表、平常点等総合的に評価する。

1. 学年学習到達目標

- ① 家族や地域の人々と協力・協働し、よりよい家庭生活に向けて考え、工夫する活動を通して、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識・及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。
- ② 持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1) 2週に1回、1時間 (2) 年間総授業数 17.5 (3) 授業形態 一斉（40人）

3. 教科書・副教材

教科書	新しい技術・家庭（家庭分野）（開隆堂）
副教材	家庭科ワークノート（地域教材社）、

4. 学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1 学期	4	A 家族・家庭生活	A（2）幼児の生活と家族 （3）家族・家庭や地域との関わり	6	
	5				
	6				
	7				
2 学期	9	C 消費生活・環境	（4）家族・家庭についての課題と実践 C（1）金銭の管理と購入 （2）消費者の権利と責任	3 4.5	
	10				
	11				
	12				
3 学期	1		（3）消費生活・環境についての課題と実践	4	
	2				
	3				

5. 評価について

定期考査と実習、発表、提出物等から総合的に評価する。

令和6年度年間授業計画 英語科 3年

対象 中学3学年全クラス

1. 学年学習到達目標

- ①教科書などの英文を聞き手が理解できる正しい発音で音読できる。
- ②Oral Presentation, Speech, Skit, Debateなどで、英語を用いて自分の考えなどを論理的に話して伝えることができる。
- ③スピーチの題材などで、テーマに基づいて、まとまった内容を英語で論理的に書くことができる。
- ④まとまりのある英語（英検準2級程度）を聞き取ることができる。
- ⑤まとまりのある英語（英検準2級程度）の文章を読んで理解できる。

2. 授業の進め方（授業形態等）

- (1)週4時間 (2)年間総授業数 140 時間
- (3)授業形態 一斉(週3時間：ALT の TT／週1 時間：JET-ALT の TT)

3. 教科書・副教材

教科書	NEW HORIZON English Course 3（東京書籍）		
副教材	Basic Grammar in Use（Cambridge）	Oxford Wordpower Dictionary	Discover Debate
	Let's Enjoy Bingo3(浜島書店)	英語のたてよこドリル3(正進社)	

4. 学習計画 *発展的内容

期	月	指導単元名	学習内容	TT(ALT) Lesson	時数
1 学 期	4	Orientation	[英語の学習方法・言語活動の基本]	Orientation	52
	5	Unit 0	Three Interesting Facts about Languages [受動態・過去分詞]	Skit 1 「Idiom」	
	6	Unit 1	Sports for Everyone [現在完了形・過去分詞 / make O C / 接続詞 that]	Interview 1	
	7	Unit 2	Haiku in English [現在完了形 / 現在完了進行形]	「My Kind of Tokyo」	
	7	Unit 3	Animals on the Red List [It is... to / want 人 to / 原型不定詞]	English Rakugo	
2 学 期		Reading Plus	英文多読	Writing 指導	60
				English Debate の基礎	
	9	Let's Read 1	A Mother's Lullaby	Skit 2 「基礎英語から」	
	10	Unit 4	Be Prepared and Work Together [間接疑問文 / 現在分詞・過去分詞]	Interview 2	
	11	Unit 5	A Legacy for Peace [後置修飾 / 関係代名詞]	「My Hero/Heroine」	
3 学 期		Unit 6	Beyond Borders [仮定法 / 関係代名詞]	Presentation	28
		Reading Plus	英文多読	Writing 指導	
				English Debate の基礎	
	1	Let's Read 2	Power Your Future	Interview 3 「中学校生活」	
	2	Let's Read 3	A Graduation Gift from Steve Jobs	Presentation	
		Optional Reading	英文多読、本のBook Recommendation	Writing 指導	
	3	Orientation	[英語の学習と評価・中学校英語のまとめ・学習方法]	English Debate の実践	

5. 評価について（評価基準と材料・場面・頻度等）

- I 知識・技能（定期考査、音読テスト、Shadowing、Presentation、Skit、面接テスト、ライティング課題）
 - ① 語いやフレーズを理解し、適切な表現として使用することができる。
 - ② 正しい語順や文型、語法などの文法事項をふまえて、適切な表現にすることができる。
 - ③ 必要な情報を、正確に聞き取ることができる。
 - ④ ある分量の英文を読んで、必要な情報を正確に読み取ることができる。
 - ⑤ 間違いやすい音に留意して、正確な発音やアクセントを用いて教科書本文の音読ができる。
 - ⑥ 相手に配慮しながら、コミュニケーションを継続することができる。
 - ⑦ 既習の文型や語法、適切な文章形式をふまえて、英文を正確に書くことができる。
 - II 思考力・判断力・表現力（定期考査、Presentation、Speech、Skit、面接テスト、Discussion、Debate、ライティング課題）
 - ⑧ 話された内容の概要・要旨を聞き取ることができる。
 - ⑨ ある分量の英文を読んで、その大意を読み取ることができる。
 - ⑩ ある分量の英文を読んで、その大意から次の展開を推測することができる。
 - ⑪ ある分量を読んで、論理展開や順序を読み取ることができる。
 - ⑫ 英語の音声と内容を伝えることを意識して、音読やプレゼンテーションをすることができる。
 - ⑬ 聞き手を説得できるように論理的に自分の意見を述べることができる。
 - ⑭ あるものの描写や詳細を説明することができる。
 - ⑮ 相手が話したいことに対して質問をしたり、答えたりしながら議論を継続することができる。
 - ⑯ 目的や場面に応じて適切な表現を用いて書くことができる。
 - ⑰ 順序や論理展開を意識してまとまった分量の文章を書くことができる。
 - III 主体的な学習に取り組む態度（授業での取り組み、課題提出、自己評価・自己分析など）
 - ⑱ 英語で進められる授業に参加し、言語活動に積極的に参加することができる。
 - ⑲ 文化・歴史・社会等の課題について積極的に考え、自らの生き方の向上に取り組むことができる。
 - ⑳ 自己の学習を振り返り、常に改善・向上の態度を持つことができる。
- ※ 中高6年間共通の評価規準のため、⑩⑪⑰は中学では見取らない。